

令和4年度の実施を目指した

公共交通の改編アンケート 調査結果

【 目次 】

1	調査概要	p. 1
2	質問項目	p. 1
3	回答者の属性	p. 2
	回答者の属性に関する概要	p. 3
4	集計結果	p. 4
	集計結果に関する概要	p. 7
5	さいごに	p. 8

令和2年10月

酒田市企画部都市デザイン課

1 調査概要

(1) 調査の目的

令和4年度の実施に向けて検討している公共交通の改編に関し、バス利用者に改編案の内容やねらいを周知するとともに、市営バス（るんるんバス）路線の変更案に対する評価や意見を収集し、今後の検討のための資料とするもの。

(2) 調査の対象

るんるんバスの乗客

(3) 調査の期間

令和2年8月25日（火）～9月25日（金）

(4) 調査の方法

全路線（計7路線）の車内に調査票等を配置し、乗車時に入手してもらうことで配布とした。回答したアンケートは、添付した返信用封筒を用いて郵送にて回収した。

なお、調査期間中、計8日間にわたって職員がバスに乗車し、利用者に声掛けするなどアンケート調査への協力依頼活動を行った。

(5) 回収数・回収率

530票の配布に対して184票を回収 回収率34.7%

2 質問項目

回答者の属性について：

年齢、職業、住まい、運転免許、普段の交通手段、公共交通の利用頻度

問1：資料『酒田市の公共交通改編【案】について』を読んで、改編の全体的な考え方やそれぞれの変更内容、ポイントは理解できたか

問2：るんるんバス「新 A・B 線」について、どう思うか

問3：るんるんバス「新 C・D 線」について、どう思うか

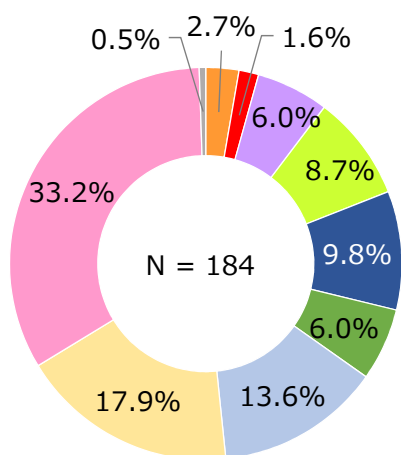
問4：るんるんバス「新 古湊アイアイひらた線」について、どう思うか

問5：るんるんバス「新 酒田駅川南線」について、どう思うか

3 回答者の属性

※ グラフ内で表記している「N」は、回答数を示しています

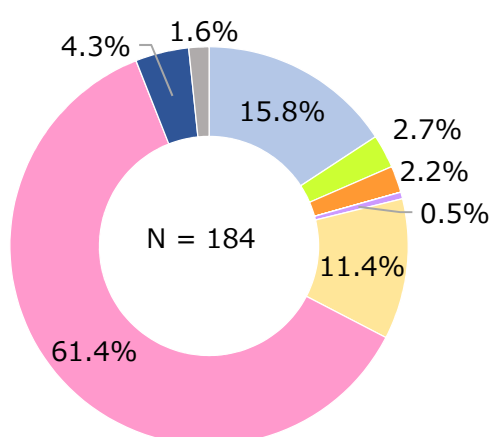
[年齢別の割合]



- 19歳以下
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70～74歳
- 75歳以上
- 無回答

- 回答者の年齢で最も多いのは「75歳以上」であり、全体の33.2%を占めている。
- 65歳以上の年齢層を合わせると、約65%を占める。

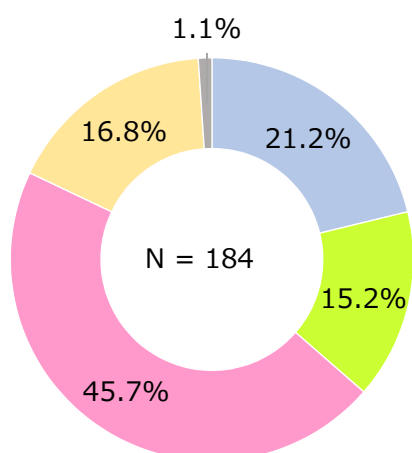
[職業別の割合]



- 会社員・公務員
- 自営業、農業
- 大学・短大・専門学校
- 高校生
- 中学生・小学生
- パート・アルバイト
- 無職
- その他
- 無回答

- 職業別では、「無職」が最多で全体の約6割を占める。
- 次いで「会社員・公務員」が15.8%、「パート・アルバイト」が11.4%となっている。
- 児童、生徒、学生は合わせて2.7%に留まり、「高校生」は皆無である。

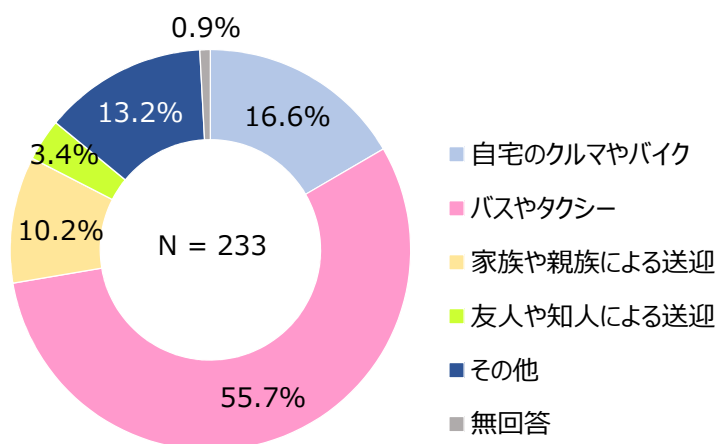
[運転免許について]



- 日頃からクルマやバイクを運転
- 運転免許はあるが運転に自信がない
- 運転免許はない
- 運転免許を返納した（更新していない）
- 無回答

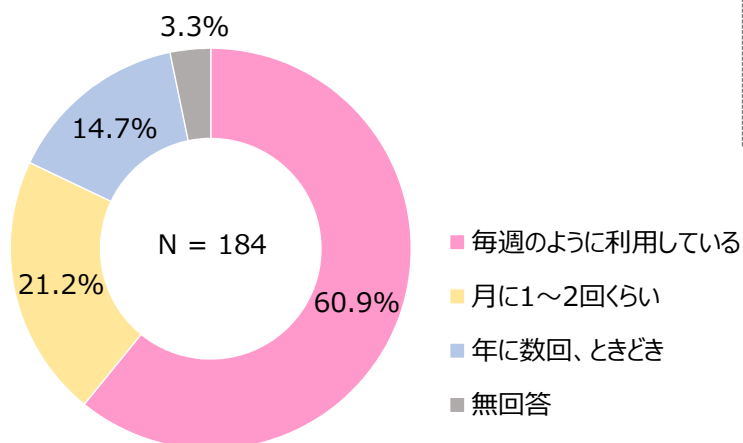
- 「運転免許はない」と「運転免許を返納した(更新していない)」を合わせると、全体の62.5%を占める。
- 「日頃からクルマやバイクを運転している」は、21.2%となっている。

【普段の交通手段】 ※複数回答あり



- 普段の交通手段が「バスやタクシー」は全体の 55.7%となっている。
- 「自宅のクルマやバイク」は 16.6%である。
- 「その他」の内容で多いのは、徒歩や自転車という回答である。

【公共交通の利用頻度】



- 公共交通を「毎週のように利用している」は全体の約 60%を占めており、「月に 1~2 回くらい」を合わせると、全体の約 82%となる。

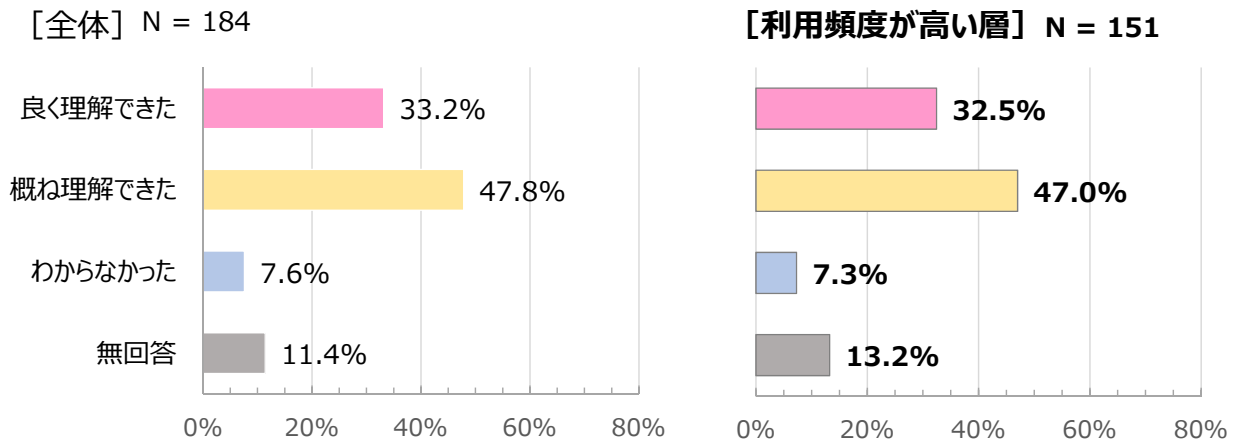
【回答者の属性の概要】

- ・ 回答者のうち、約 65%を 65 歳以上が占めている。
- ・ 6 割以上が運転免許を所有しておらず（返納を含む）、公共交通を毎週のように利用している。

4 集計結果

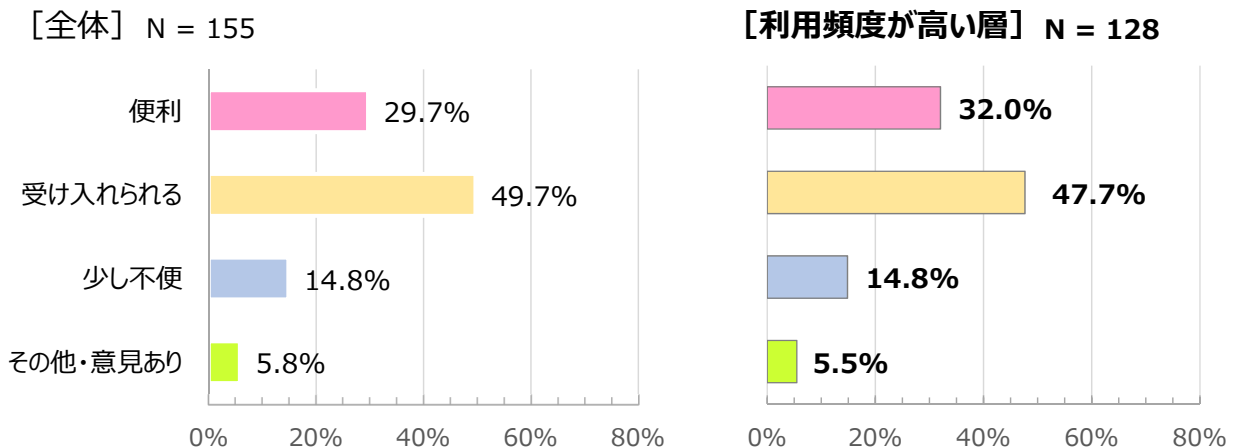
※ 全体での集計結果に加え、公共交通の利用頻度が高い層で抽出した結果を並べて示す

問1：資料『酒田市の公共交通改編【案】について』を読んで、改編の全体的な考え方やそれぞれの変更内容、ポイントは理解できたか



- 「良く理解できた」と「概ね理解できた」は、合わせて全体の約8割を占めている。
- 比較として、公共交通の利用頻度が高い層をみると、「無回答」の割合が若干増加しているものの、全体での集計結果とほぼ同じ状況となっている。
- 「わからなかった」とする回答では、運行経路やダイヤについてもっと詳しく知りたいといった意見のほか、改編の必要性を感じない、とにかく今のままで良いといった意見が見られる。

問2：るるんバス「新 A・B 線」について、どう思うか



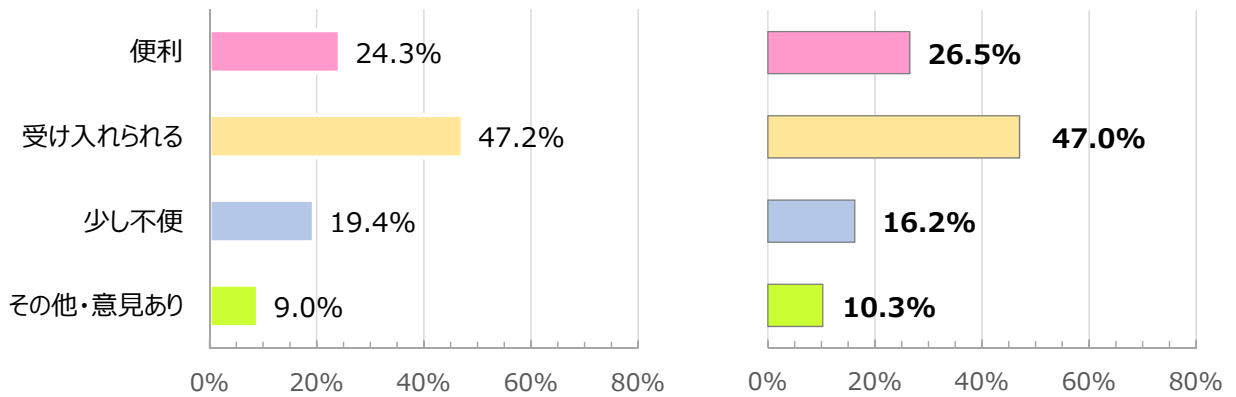


- 新 A・B 線の検討案について、「便利」と「受け入れられる」を合わせると、全体の約 8 割を占めている。
(全体では 79.4%、利用頻度が高い層では 79.7%)
- 比較として、公共交通の利用頻度が高い層をみると、「受け入れられる」が 2.0 ポイント減少している分、「便利」が 2.3 ポイント増加しており、より好意的な評価を得ているものと考えられる。
- 「少し不便」「その他・意見あり」では、運行ダイヤに関する意見のほか、経路をもっと短くしてほしいといった意見がみられた。

問 3： るるんバス「新 C・D 線」について、どう思うか

[全体] N = 144

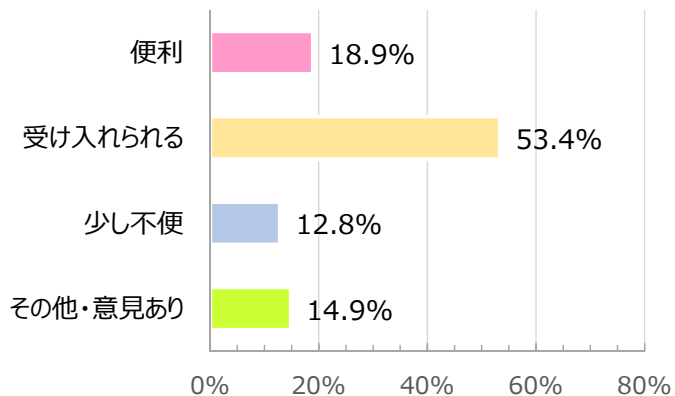
[利用頻度が高い層] N = 117



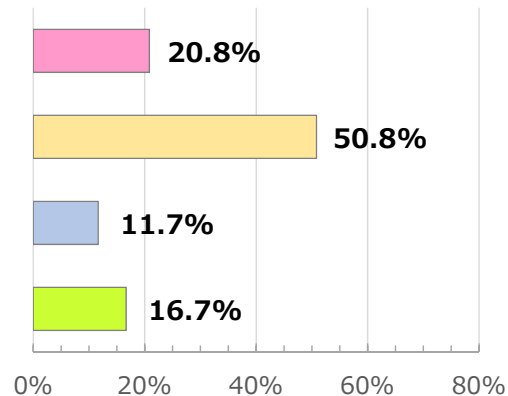
- 新 C・D 線の検討案について、「便利」と「受け入れられる」を合わせると、全体の約 7 割を占めている。
(全体では 71.5%、利用頻度が高い層では 73.5%)
- 比較として、公共交通の利用頻度が高い層をみると、「便利」が 2.2 ポイント増加している一方で、「少し不便」「その他・意見あり」は合わせて 1.9 ポイント減少しており、より好意的な評価を得ているものと考えられる。
- 「少し不便」「その他・意見あり」では、特に運行日の増加 (検討案では火・木・土曜日の隔日運行としている) を要望する声大きい。

問4： るるんバス「新 古湊アイアイひらた線」について、どう思うか

[全体] N = 148



[利用頻度が高い層] N = 120



➤ 新 古湊アイアイ線の検討案について、「便利」と「受け入れられる」を合わせると、全体の約7割を占めている。
 (全体では72.3%、利用頻度が高い層では71.6%)

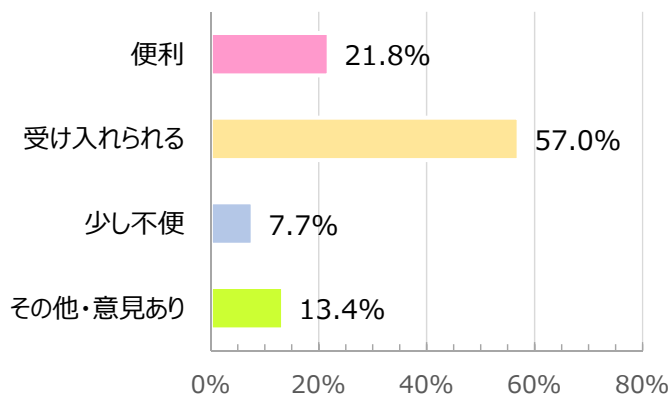
➤ 比較として、公共交通の利用頻度が高い層をみると、「便利」が1.9ポイント高いものの、「受け入れられる」が2.6ポイント減少しており、若干、全体での集計より低い評価となっている。

➤ 「少し不便」「その他・意見あり」では、便数や運行日の増加（検討案では月・水・金曜日の隔日運行としている）に対する意見が多いほか、運行経路としてみずほ地区の経由を求める声大きい。

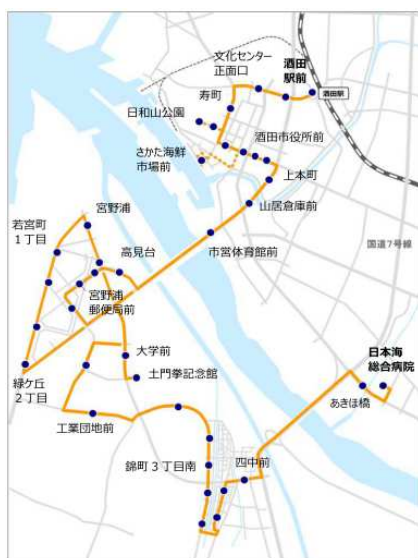
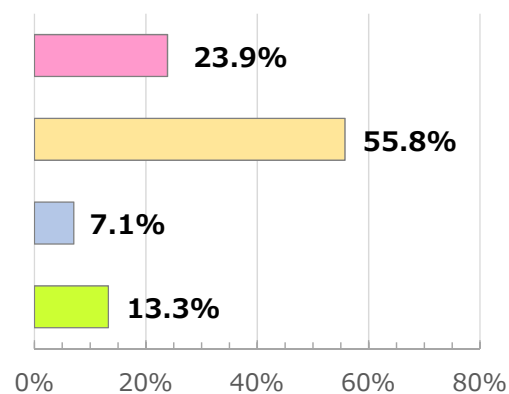


問5： るるんバス「新 酒田駅川南線」について、どう思うか

[全体] N = 142



[利用頻度が高い層] N = 113



- 新 酒田駅川南線の検討案について、「便利」と「受け入れられる」を合わせると、全体の約 8 割を占めている。
(全体では 78.8%、利用頻度が高い層では 79.7%)
- 比較として、公共交通の利用頻度が高い層をみると、「受け入れられる」が 1.2 ポイント減少している分、「便利」が 2.1 ポイント増加しており、より好意的な評価を得ているものと考えられる。
- 「少し不便」「その他・意見あり」では、運行ダイヤや便数に関する意見が多く見られるが、経路をもっと伸ばして循環型にしてほしいという声がある一方、逆にもっと路線を短くしてほしいという意見もあり、多様なニーズが伺える結果となっている。

【集計結果の概要】

- ・ 検討案として示したいずれの路線についても、「便利」と「受け入れられる」を合わせると 7 割超を占める結果となり、高い評価を得ている。
- ・ 公共交通を利用する頻度が高い層で抽出した結果をみても、全体的に高評価を得ている傾向は同じである。
- ・ 記入された意見では運行ダイヤに関するものが多く、個別の路線案としては特に「新 C・D 線」における運行日の増加、「新 古湊アイアイひらた線」における運行日や便数の増加、みずほ地域の経路に関するものが多かった。

集計結果の一覧

【全体】	便利	受け入れられる	少し不便	その他・意見あり
新 A・B 線	29.7%	49.7%	14.8%	5.8%
新 C・D 線	24.3%	47.2%	19.4%	9.0%
新 古湊アイアイひらた線	18.9%	53.4%	12.8%	14.9%
新 酒田駅川南線	21.8%	57.0%	7.7%	13.4%

【利用頻度が高い層】	便利	受け入れられる	少し不便	その他・意見あり
新 A・B 線	32.0%	47.7%	14.8%	5.5%
新 C・D 線	26.5%	47.0%	16.2%	10.3%
新 古湊アイアイひらた線	20.8%	50.8%	11.7%	16.7%
新 酒田駅川南線	23.9%	55.8%	7.1%	13.3%



5 さいごに

- ◆ 本件において示した個別の路線案は、現在検討中のものです。路線の名称やバス停の位置などを含め、最終的に決定したものではありません。
- ◆ バス路線の変更にあたっては、今後、新たに利用したい方々の要望を取り入れることも大切ですが、現行の市営バス路線を利用している方々にとっても、「便利」や「受け入れられる」と評価されるものであることが大変重要であると考えております。
- ◆ 今後も、いただいたご意見を参考に、地域の公共交通として利便性が高く、持続可能なものとなるよう検討を重ねてまいります。
- ◆ バス路線としては、一定の利用者がいてこそ、運行を継続していくことが可能となりますので、今後も引き続き、ご利用くださいますようお願いいたします。
- ◆ アンケート調査にご協力いただき、大変ありがとうございました。
お気付きの点や疑問な点などございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

【お問合せ】

酒田市 都市デザイン課 地域公共交通係

電話：0234-26-5756 メール：kotu@city.sakata.lg.jp